

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく 平和の国づくりを
非核「神戸方式」、自治体権限をふみにじる石破政権

たたかい続けよう

質問する山添拓議員
12日、参院外防委



2025. 6. 17
しんぶん赤旗
参院外防委
日本共産党の山添拓議員は12日の参院外交防衛委員会で、非核「神戸方式」で外国艦船の入港に非核証明書提出を義務づけている神戸港に、米海軍掃海艦ウオリアが非核証明書なしで入港した背景には、「可視性を高める」とする米戦略と日米拡大抑止の方針があると告発し、「核抑止ではなく核兵器禁止・廃絶へ転換すべきだ」と求めまし

2025. 6. 17
しんぶん赤旗

参院外防委

神戸方式じゅうりん 山添氏が告発

核抑止でなく核廃絶を

神戸市議会本会議では、6月10日日本共産党の森本真市議が「非核証明書」の提出無しに今年3月、米艦船の神戸港入港を認めた神戸市政を厳しく批判しました。

1975年全会一致で採択された「核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」の意義を森本市議はあらためて強調し、決議の本旨は「非核証明書」の提出なしには入港を認めないのが本旨と、求めなかった神戸市長を追及しました。

久元市長は、まともにも答えず、「コレまでの慣行にしたがった」と答えたのみでした。

山添氏は「核兵器を搭載していないことに疑いをもっていない」として同艦の核兵器搭載の有無を米国に照会しなかった政府の対応について、米側は神戸市との会談で「個別艦船の核兵器搭載の有無は言及できない」と述べており、「疑いはないと断言できない」と批判。「艦船に核兵器を積んでいるか米国に確認したことが一度でもあるか」と追及すると、外務省の熊谷直樹審議官は「答えを控える」として確認していない実態を否定しませんでした。

山添氏は、港灣法が港灣管理権を自治体権限としたのは、戦前、国の直轄管理で港灣が兵たん基地化された反省からだとし、「逸脱しているのは非核三原則を貫徹しない政府側だ」と断じました。
米軍が「神戸方式」を踏みにじったのは、米政府の「核態勢の見直し(NPR)」(2002年)や日米拡大抑止協議(23年)で「可視性を高める」核戦力を積極的に見せる方針に転換したためだと指摘。戦略原子力潜水艦の韓国展開や戦略爆撃機B52の訓練参加などは「核抑止力と核戦力を見せる核による威嚇だ」と批判し、「広島・長崎の被爆の実相こそ世界に見せていくことが日本の役割だ」と主張しました。

この重大問題は、国会でも取り上げられ、上記しんぶん赤旗でも背景を詳しく報道しました。

斉藤知事の姿勢に批判が増加

6月19日午後三宮マルイ前行動に21人が参加。スピーチは5人でイスラエルのイラン攻撃、ガザ、斉藤知事、原発、憲法などを取り上げました。チラシは350枚を配りました。

シール投票は、「斉藤知事は、本当のことを発言していると思いますか?」を問い、「思います」が2票、「思いません」が39票、「わかりません」が6票の計47票でした。「思います」に貼った男性に、「なぜ思うのですか」と問うと、足早に黙って去って行かれました。マイクスピーチに4人連れの男子大学生グループが「その通り」と言って通って行きました。

(市民デモHYOGOニュースより)

地域や団体の催し

なくそう核兵器、2025平和行進

ロシアもイスラエルもただちに戦闘やめて!!

7/7・12:00 川西市役所→7/8・9:00 宝塚市役所→7/9・9:00 尼崎市役所・橘公園→7/10・9:00JR 六甲道駅北→7/11・9:40 垂水レバンテ1号館前→7/12・9:00 二見市民センター→7/13・9:30 高砂市役所→7/14・9:00JR 網干駅→7/15・10:45JR 相生駅→7/16・8:00 赤穂市役所→12:00 岡山県へ引き継ぎ→→→→8/4 広島到着
—あなたの一步が世界を変え、日本を変えます—
(連) 078-341-2818

★★★ 7月26日(土) 13時半～

各地域から幅広い共同めざす2025全県交流会議
共催：兵庫憲法共同センター、兵庫革新懇
場所：学校厚生会館3階会議室(元町駅北3分)
講演：石川康宏さん・神戸女学院大学名誉教授
『仮題・参議院選挙でひらけた情勢』
交流：県内各地・各団体の活動経験